



市川市立第一中学校 学校だより

えのき

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai1-chu/>



令和6年度 第9号
校長 鈴木 康治
令和6年 12月18日

2学期が終わります。

早いもので、2学期ももうすぐ終わりです。今学期は、榎祭や校外学習、ドイツ生徒との交流会、一中フェスタ等、様々な行事がありました。また途中、一中オリジナルキャラクター「えのふく」の決定や全校縦割り活動などもあり、例年の2学期と比べても、大変充実した学期となりました。それら全ての活動の中で、皆さんがいつも明るく元気に、そして一生懸命活動している姿を見せてくれたこと、とっても素晴らしいことだと思います。そうした様々な活動を通して得られた経験や思い出が、少しずつ積み重なり、皆さんの心をより大きく成長させていくことと思います。これからの皆さんの活躍に大きく期待を寄せています。



さて、来週から冬休みに入ります。夏休み前にも書きましたが、長い休み中、繁華街に出かけることもあるかもしれませんが、そこでの様々なトラブル（お金を脅し取られたり、性的被害につながるような出会いをしたり）や、SNSを介した犯罪に巻き込まれることのないように十分に注意するとともに、何か実際に困ったことになったら、自分で解決しようとせず、できるだけ早い段階で、保護者や警察等に相談してください。また、寒い時期ですので、体調にもくれぐれも注意して、3学期にまた元気な姿をみせてください。

校長面接

3年生の進路へ向けた「校長面接」がほぼ終わりました。面接を通して、普段知らなかった3年生個人個人の人柄や考え方を知ることができ、とても良かったと思います。また自分の将来について、真剣に考え、答える様子は大変立派だったと思いました。校長面接を通して感じたことをいくつかまとめておきます。

一つめは入退場の重要性です。面接中はよくできているのに、入退場が今一つピリッとしないう生徒が多かったように思います。入場時の行動で面接官の印象は大きく動かされます。礼の仕方を含めて、もう一度ぜひしっかりと確認をしておいてください。

二つめは「自己アピール」についてです。自己アピールはアピールなので、自分の短所を言う必要はありません。自分の長所を自信を持って言うとともに、できればその長所を生かして、進学先でどのような活動ができるか、学校にどのように貢献できるかを堂々と述べられるようにしましょう。

三つめはとても良いことなのですが、「あなたの通っている中学校はどんな学校ですか」という質問をしています。「明るい」「挨拶が多い」「笑顔が多い」「生徒主体」が多い中、「先生と生徒の仲が良く話しやすい」「先生が親身になって話を聞いてくれる」等の答えがたくさんありました。学校生活の中で、教員と生徒の間の信頼関係は何よりも大切なことだと私は思っているので、とってもうれしく、また頼もしく感じました。

今後2回目3回目の練習を希望する人は、何回でも付き合いますので、担任の先生や進路指導の先生に申し出てください。



縦割り活動（全校道徳の実施）

12月9日（月）の5時間目に、全校での縦割り活動を行いました。この時間は普通の学級を解体し、1年生から3年生までが混ざった状態のクラスをつくり、そこで活動をしました。遠い昔はわかりませんが、一中では初めての活動になるかと思えます。内容としては、自己紹介、アイスブレイク、話し合いというものでしたが、中央委員が前に立ち、それぞれの学級での活動を仕切っている姿が素晴らしかったです。いつもと違い他学年生徒の前で妙に緊張している生徒や、逆に妙にテンションの高い生徒等様々でしたが、いい話し合いができたのでしょうか。話し合いの内容はともかくとして、部活動以外の他学年生徒と交流する機会はあまりないので、貴重な体験ができたのではないのでしょうか。準備してくれた皆さんありがとうございました。当日司会を担当してくれた生徒会や中央委員の代表の方たちに一言ずついただきましたので、紹介します。



○3年4組 さん（前生徒会長）

今回の他学年との交流という活動は僕が生徒会に入ってからずっと実現したいと思っていた活動の一つです。僕は生徒会長になったころ、学校だよりに「みんなが他のクラス、他の学年などの普段関わることのない人とも仲良くなることができる活動を行いたい！」という目標を載せてもらいました。その目標に一歩近づけたようでとてもうれしく思います。このような活動がこれからもどんどん増えていき、一中生の交流の場となることを願っています。

○2年4組 さん（現生徒会長）

まずは、準備を共に行い、素晴らしい授業をしてくれた中央委員の皆さん、生徒会本部のみなさん、そして初めてのことで臨機応変に他学年との交流を成功させてくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。今回の交流は、一中初めての試みでしたが、皆さんの意欲的な話し合いは一中の主体性と新しい可能性を示せたと感じました。今回の活動で皆さんは「自分の意見や考えをしっかりと伝える」という力が身についたと思います。今回得た経験を日々の学校生活に生かし、みんなで成長していきましょう。

○2年5組 さん（現中央委員長）

今回行われた他学年との交流を通して、私は3学年が同じ教室に集まって私たち生徒自身が先生役として授業をするという新しい試みを生徒会と中央委員で協力して成功させることができとても嬉しいです。また、アイスブレイクでは、学年を超えて班内で盛り上がっている姿が見られて楽しかったです。また、話し合い活動では他学年と交流したことにより、様々な意見を知ることができました。来年からは、年に一度だけではなく、3学年の交流する機会を増やし、次の学年につなげられるようにしたいです。

学校目標の達成度はどれくらいだろう

年度初めに決めた学校教育目標の中に、「目指す学校像」というものがありました。

- ・生徒、保護者、教職員が誇りに思える学校
- ・生徒や教職員が生き生きと活動できる学校
- ・いつでも気持ちのいい挨拶が聞こえてくる学校
- ・明るくきれいな学校
- ・地域とともに歩む学校

の5つですが…。どうでしょうか？どれくらい達成できているのでしょうか。少し考えてみてください。また時間がありましたら一度御家庭でも話し合ってみてください。